

平成 30 年 8 月 28 日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋 2 丁目 7 番 1 号



太陽生命の認知症アンケート調査に基づく 日本医師会総合政策研究機構の研究が発表されました

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、昨年、日本医師会総合政策研究機構（以下、「日医総研」）と連携し、認知症に関するアンケート調査を実施しました。この度、日医総研が同調査に基づく研究結果を発表しましたのでお知らせいたします。

当社は、平成 28 年 6 月より、「健康寿命の延伸」という社会的課題にこたえるために、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、『太陽の元気プロジェクト』を推進しています。その一環として、昨年、日医総研の協力を得て、当社保険商品にご加入いただいているお客様を対象とした「健康や医療・介護に関するアンケート調査」を実施し、その結果を公表しています。*

この度、日医総研が同調査結果の二次的分析を行い、「かかりつけ医の存在」や「認知症介護経験」が中高年層の意識や行動に影響を与えていることを示唆する研究結果をとりまとめました。

◆日医総研による研究結果

<表題>

日医総研ワーキングペーパー No. 410

「認知症をはじめとする高齢者の健康に関わるアンケート調査分析：かかりつけ医と認知症介護経験に着目して」（坂口 一樹、野村 真美、澤 倫太郎）

http://www.jmari.med.or.jp/research/working/wr_650.html

<概要>

- ・認知症をはじめとする高齢者の健康に関わる広範なトピックについて、「かかりつけ医の存在」と「認知症介護経験」の2つの着眼点から現在の中高年層の認識を探ることを目的として、太陽生命が実施した「健康や医療・介護に関するアンケート調査」の調査結果を二次的に分析した。
- ・分析結果からは、（1）かかりつけ医の存在は、認知症をはじめとする高齢者の健康に関わる中高年層の意識や行動にポジティブな影響を及ぼすであろうこと、（2）認知症介護経験によって、認知症をはじめとする高齢者の健康に関わる中高年層の意識や行動に変化が生じることがわかった。

当社は、今後も当社保有データを活用した外部研究機関等との協働による研究等を進め、商品・サービス開発に活かすとともに、認知症をはじめとする超高齢社会の課題解決に取り組んでまいります。

以 上

（*）平成 29 年 7 月 12 日付ニュースリリース「太陽生命 認知症に関するアンケート調査を実施」参照。



100歳時代シリーズ

ひまわり認知症治療保険 100歳時代年金

十ヶツケ隊

